

# 「我が子を伸ばす家庭学習」

～我が子の学びを支える3つのポイント～

Point 1

家族・保護者の協力が大切

子どもを支える  
学習環境づくり

Point 2

家庭学習で取り組ませたい

宿題と自主学習

Point 3

身につくまでしっかり

望ましい生活習慣

諫早市立小野小学校



## ■ 家庭学習の重要性について

子どもに基礎的な知識・技能をしっかりと身につけさせ、それらを活用し、主体的に考える力を育てていくためには、生涯にわたって主体的・意欲的に学び続ける「主体的な学び手」を育てるという観点から、学校教育とともに、家庭学習の充実に取り組むことが重要です。

全国学力・学習状況調査の研究においても、学力向上の効果的な取組として、「家庭学習の充実」「宿題+自主学習」などが挙げられ、積極的な実践が推奨されています。

家庭学習の充実は、生活習慣の改善と大きな関わりがあります。小野小学校では、「学習習慣の確立」と「生活習慣の改善」を併せた取組を推進します。どうか大切な我が子の将来のために、本リーフレット……

『我が子を伸ばす家庭学習』 ～我が子の学びを支える3つのポイント～に沿って、家庭学習に力添えをしてあげてください。

## Point1 子どもを支える学習環境づくり

■こんな会話で学習意欲アップ！ 声かけが大切です。

- ① 今日の出来事 「学校でどんなことをしたの？」「どんな勉強したの？」
- ② 家族の協力 「困っていることはない？」「してほしいことはある？」
- ③ 将来の夢や興味 「何になりたいの？」「やってみたいことは何？」

■習慣化するための家庭のルール を決めましょう。

家庭学習の 3つの約束	①始める時刻を決める。 ②学習場所を固定する。 ③学習量の目安を決める。 (時間とページ数)	学習時間にテレビを消したり、音を小さくしたりするなどの協力が大切です。
学習場所の 整理も大切	①学習しやすいように整理する。 ②必要なものを準備する。(学用品・辞書等) ③次の準備をして片付ける。	



# Point2 宿題と自主学習

保護者の関わりが  
一番大切です！

## ■家庭学習を応援する保護者の関わり方

学年	保護者の関わり方の例	学習時間の目安
1・2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>できないなど、困っているときは一緒にする。</li> <li>最後までできたときは、しっかりほめる。</li> </ul>	<b>学年×15分 以上！</b> 6年は1時間半！
3・4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容が難しくなり、つまずきが出始めるので、状況を把握する。</li> <li>苦手なところができるようになったら、しっかりほめる。</li> </ul>	
5・6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分なりに考えて学習を進めているか、確認する。</li> <li>学習の様子を見て感想などを伝え、努力を認めて励ます。</li> </ul>	

## ■まず「宿題」。次に「自主学習」。その流れを習慣づける。



# Point3 望ましい生活習慣

生活習慣は  
家族しか見えません。

## ■基本中の基本 「早寝・早起き・朝ごはん」

**早寝**

夜10時から朝4時に睡眠することで、成長ホルモンが分泌されると言われています。

習い事などの予定にも配慮して、小学3年生までは夜9時、小学6年生までは10時、中学生は11時までには就寝しましょう。

**早起き**

余裕をもって家を出られる時刻に起きましょう。

- ①カーテンや窓を開けて、朝日を浴びましょう。
- ②コップ一杯の水分を補給しましょう。
- ③少し体を動かしましょう。

**朝ごはん**

主食、主菜、副菜のそろった朝食を摂ると、脳の活動に必要なエネルギーである糖分とともに、他の栄養素も補給できます。そのことで、昼間の集中力が増し、夜もスムーズに眠れます。

## ■「メディアコントロール」…ゲームやスマホに負けない子どもに……

**時間**

1時間以上使用させないことや夜9時で預かるなどルールを決めて守らせましょう。

**場所**

できるだけ家族のいる場所で使用するようにならせます。

**使い方**

使用マナーやネットモラルなど、その使い方について確認をしましょう。

# 家庭と学校が協力して学力向上

## 「親が変われば 子は変わる！」

新型コロナウイルス感染予防のために臨時休校措置がとられ、子どもたちの学びが途切れ途切れになってしまい、学習内容の理解、学習習慣の定着も心配されるところです。学校の授業も時数不足のために当然のごとくスピードアップを求められ、細かな指導が難しい状況となっています。

そんな今だからこそ、家庭学習の重要性がクローズアップされています。家庭学習への保護者の応援が、子どもたちの学習効果を後押しするのです。

親の姿勢を変えることは、決して楽な道ではありません。しかし、親が子どもの将来に積極的に関わること、子どもの学習への協力と環境整備しか、子どもの可能性を押し広げる手立てはないと思います。家庭での努力を習慣化できた子どもは、幅広い可能性を手に入れるのです。

中学校へ進めば、小学校以上に自分の意志で学ぶ姿勢が求められます。高学年の中には、中学校の受験を考える子どもも出てきます。子どもたちが、自分の進路を切り拓き、大きな可能性を手に入れるためにも家庭学習に取り組む姿勢、習慣化は大切です。

「我が子を伸ばす」「我が子の可能性を広げる」… …この思いで、家庭学習のあり方を充実していきましょう。



諫早の眼鏡橋

